

平成29年柴田町議会懇談会
報 告 書

テーマ

一般懇談会

「これからの公共交通について」

「町政・議会全般」

団体懇談会

「若者が地域に戻りたくなる町」

平成29年12月20日

柴 田 町 議 会

議会の活動を町民に報告するとともに、議会や町政に対する町民の意見・要望等を直接聴取し議会活動に反映させるため、平成29年9月20日に町内3カ所の会場で、一般懇談会を開催しました。

今回は、懇談会のテーマを「これからの公共交通について」としました。このテーマに関連する公開議員研修会を、懇談会前に宮城大学副学長の徳永幸之氏を講師として開催し、公共交通について事前学習しました。

今回の一般懇談会は、中学校区ごとの夜間の開催としました。台風の影響で8月から9月に延期となりましたが、参加された皆様から多くの意見や要望をいただきました。

また、昨年に引き続き10月に柴田高校での3年生とのワールドカフェ形式での団体懇談会を開催しました。今回は柴田高校生のほか、仙台大学生にも参加いただき、次世代を担う若い世代と「若者が地域に戻りたくなる町」をテーマに、地域に対して普段感じていることなどについて、活発な意見交換ができました。

これら一般懇談会及び団体懇談会で出された質問・意見・要望等について、次のとおり報告します。

平成29年12月20日

議長 高橋 たい子 殿

議会懇談会実行委員会

委員長	平間 幸弘
副委員長	秋本 好則
委員	森 裕樹
委員	佐々木裕子
委員	広沢 真
委員	白内恵美子

目 次

1	一般懇談会	1
	(1) 参加者数	1
	(2) 質問・意見・要望等の件数	1
2	団体懇談会	3
	(1) 参加者数	3
	(2) 懇談会の実施方法	3
3	町長への申し入れ事項	4
4	議長への申し入れ事項	4
5	平成30年議会懇談会実行委員会への申し送り事項	4

懇談会の内容

1	一般懇談会	5
	(1) これからの公共交通について	5
	(2) 町政・議会全般について	8
2	団体懇談会	13

【総括】

1 一般懇談会

テーマ 「これからの公共交通について」
「町政・議会全般」

(1) 参加者数

開催日時	開催会場	中学校区	担当班	参加者数	臨時託児利用者数
9月20日 (水) 19:00~20:45	槻木生涯学習センター (1階会議室)	槻木中	1班	14人	—
	柴田町保健センター (4階会議室)	船岡中	2班	20人	1人
	船迫生涯学習センター (2階会議室)	船迫中	3班	16人	—
計				50人 (前年は43人)	1人 (前年は1人)

(2) 質問・意見・要望等の件数

① 懇談テーマ1 これからの公共交通について

(ア) 議会に関する質問・意見・要望等

開催会場	質問・意見・要望等の件数
槻木生涯学習センター	—
柴田町保健センター	2件
船迫生涯学習センター	—
計	2件

(イ) 公共交通に関する質問

開催会場	質問・意見・要望等の件数
槻木生涯学習センター	1件
柴田町保健センター	5件
船迫生涯学習センター	4件
計	10件

(ウ) 公共交通に関する意見・要望等

開催会場	質問・意見・要望等の件数
槻木生涯学習センター	8件
柴田町保健センター	13件
船迫生涯学習センター	9件
計	30件

① 懇談テーマ2 町政・議会全般について

(ア) 議会に関する質問・意見・要望等

開催会場	質問・意見・要望等の件数
槻木生涯学習センター	6件
柴田町保健センター	3件
船迫生涯学習センター	2件
計	11件

(イ) 町政に関する質問・意見・要望等

開催会場	質問・意見・要望等の件数
槻木生涯学習センター	10件
柴田町保健センター	9件
船迫生涯学習センター	13件
計	32件

2 団体懇談会（住みたい町って？しゃべり場 in 柴田高校 2017）

テーマ 「若者が地域に戻りたくなる町」

（1）参加者数

開催日時	開催会場	参加者数		
10月27日(金) 13:40～15:30	柴田高校 (1階会議室)	81人		
		内 訳	柴田高校3年生	37人
			柴田町議会議員 仙台大学生等 丸森町議会議員	18人 20人 6人

ファシリテーター（進行役）：青森中央学院大学 経営法学部 准教授

早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員 佐藤 淳 氏

（2）懇談会の実施方法

高校生、大学生、議員等を5～6人の小グループに分け、ラウンドごとに異なるテーマをグループ内で話し合った。ラウンドごとに議員1名を残して席替えを行い、3ラウンドの話し合いを行った。

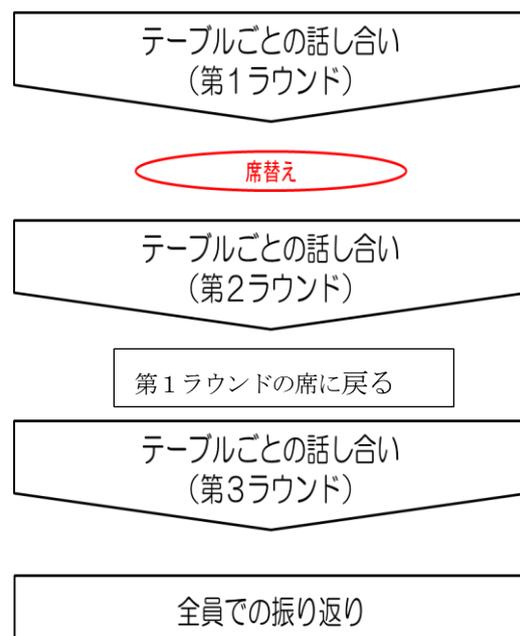
グループ内で出た意見については、各自自由にテーブル上の模造紙に書き込み、3ラウンド終了後に参加者が意見、感想を発表した。各ラウンドの対話テーマは以下のとおり。

- ①「自分の住む町の誇りに思うこと、残念に思うことは何ですか」
- ②「20年後、地元で暮らす、地元と関係を持ち続ける自分について想像してください。そこではどのような仕事をしています、どんな人々とどんな暮らしをしていますか？」
- ③「そんな20年後が実現するために、今取り組まなければならない一歩は何でしょうか？大人に応援してもらいたいことは何でしょうか？大人に応援できることは何でしょうか？」

◆当日の様子



ワールド・カフェの流れ



3 町長への申し入れ事項

○議会懇談会での質問や要望は、議会が直接町民から聞き取った生の意見です。議会としても、常任委員会等で検討していますが、町政運営にあたっては、これらの意見に十分配慮して対応されることを望みます。また、今後も議会懇談会に対して参考資料の提供など、協力をお願いします。

4 議長への申し入れ事項

○今回の懇談会から要求や要望に対する回答を町に一任するのではなく、常任委員会等が回答する方式に変えました。常任委員会の活動の幅が広がるようになるので、来年度も継続を推奨願います。

5 平成30年議会懇談会実行委員会への申し送り事項

○常任委員会による回答の方式は今後も継続してください。

○一般懇談会においては、公開議員研修会の資料を配布し、話し合いの前に説明をお願いします。

○今年は年間を通してテーマを統一し、議論を深めることができたので、今後もテーマの統一を望みます。

○懇談テーマに沿った開催日時や会場の選定を検討してください。

○一般懇談会においても、ワークショップ形式の導入を検討してください。

○柴田高校との懇談会は今後も継続してください。

○柴田高校との懇談会とは別に、他団体との懇談会を検討してください。なお、実施に当たっては、常任委員会ごとの開催や、各団体から参加者を募ってのワールドカフェなどを検討されることを望みます。

1 一般懇談会

懇談テーマ1：これからの公共交通について

(1) 議会に関する質問・意見・要望等

ア 槻木生涯学習センター 意見なし

イ 柴田町保健センター

対象地区／船岡中学校区		担当班／2班	
No.	質問・意見・要望等の要旨	回答担当	回答
1	議会懇談会では、事前に行った公開議員研修会の資料を参考に配布してほしい。	議会懇談会 実行委員会	次回以降、資料の作成も含め検討します。
2	懇談会では話題、テーマを絞り込むべきではないか。そうすればもっと生きた懇談会になる。	議会懇談会 実行委員会	今後の懇談会のテーマ選定の参考にさせていただきます。

ウ 船迫生涯学習センター 意見なし

(2) 公共交通に関する質問

ア 槻木生涯学習センター

対象地区／槻木中学校区		担当班／1班	
No.	質問の要旨	回答担当	回答
1	デマンドタクシーの現在の利用状況はどうか。当初目標としていた数値に対して達成率はどうか。	議会懇談会 実行委員会	町執行部に確認したところ、以下のとおりです。 「延べ利用者数は、 平成26年度18,699人、 平成27年度17,778人、 平成28年度16,546人でした。 1日あたりの平均利用者数は、 平成26年度76.6人、 平成27年度73.5人、 平成28年度68.1人となっており、 当初目標としていた1日あたりの平均利用者数80人に対する達成率は、 平成26年度95.8%、 平成27年度91.9%、 平成28年度85.1%となっています。」 利用者数と達成率はともに減少しています。

イ 柴田町保健センター

対象地区／船岡中学校区		担当班／2班	
No.	質問の要旨	回答担当	回答
1	路線バスを走らせている岩沼市のことは調査したのか。	議会懇談会 実行委員会	今後の公共交通システムとしてデマンド型乗合タクシーを導入するにあたり、近隣市町の地域公共交通の状況を調査しています。この状況調査の中で、岩沼市の路線バスの状況についても調査しています。 利用状況等調査した結果を踏まえて、デマンド型乗合タクシーの導入となったものです。

2	デマンドタクシーはなぜ中核病院に行けないのか。	議会懇談会 実行委員会	デマンド型乗合タクシーは、運行エリアを柴田町に限定して東北運輸局から営業許可を受けているからです。町外へ運行するためには、タクシー事業者との合意、地域公共交通協議会等での合意を得たうえで、一般乗合旅客自動車運送事業の経営許可申請が必要となります。
3	デマンドタクシーの利用方法は、到着時間の指定はできるのか。	議会懇談会 実行委員会	事前の利用者登録をし、利用の際には予約が必要となります。利用料金は大人300円、子どもは150円です。また、乗り合いで運行していることから、ルートや到着時間の指定はできません。お急ぎの場合は、通常のタクシーを利用ください。
4	デマンドタクシーの運営補助として町が負担している約2,300万円には交付税措置があるのか。	議会懇談会 実行委員会	町執行部に確認したところ、「デマンド型乗合タクシーを含む地方バス路線の運行維持に要する経費に対しては、地域の足の確保の観点やまちづくりの観点から、特別交付税で財源措置されています。」とのことでした。
5	デマンドタクシーの運行はタクシー会社がやらなければならないものなのか。	議会懇談会 実行委員会	デマンド型乗合タクシーを運行するためには、東北運輸局からの営業許可を受ける必要があります。このため、柴田町においては、事業実施主体である柴田町商工会が、既に東北運輸局の営業許可を受けている町内タクシー会社に運行を委託する方法により、デマンド型乗合タクシー事業を実施しているものです。柴田町では、タクシー会社に委託しなければ運営は困難です。

ウ 船迫生涯学習センター

		対象地区/船迫中学校区	担当班/3班
No.	質問の要旨	回答担当	回答
1	大河原町や村田町にも同じデマンドタクシーの制度があるのか。	議会懇談会 実行委員会	大河原町ではデマンド型乗合タクシー「さくらっきー号」が、村田町ではデマンド型乗合タクシー「くらりん号」が運行されています。
2	デマンドタクシーは身体が不自由な方やお年寄りの方が利用していると思うが、利用状況のデータはあるのか。	議会懇談会 実行委員会	町執行部に確認したところ、「事業実施主体である柴田町商工会が利用状況データを保有しています。柴田町商工会による平成28年度デマンド型乗合タクシー運行事業補助金実績報告書によりますと、平成28年度の延べ利用者数16,546人のうち、年代別内訳として60歳以上で約9割を占めています。また、運賃が半額となる小学生・障害のある方の利用者数は4,273人です」とのことでした。
3	以前あったみやぎ生協の買い物バスのようなものを行政でできないか。	議会懇談会 実行委員会	買い物バスは民間が行うものと考えます。そのような声を受けて検討し実施したものがデマンド型乗合タクシーです。
4	デマンドタクシーの運行には制約があることを知ったが、現在の年間延べ利用者数は、想定と比較	議会懇談会 実行委員会	当初想定していた1日あたりの平均利用者数は80人です。平成28年度の稼働日数は243日なので、計算上は19,440人となりますが、実際の延べ利用者数は16,546人です。平成28年度は、延べ利用

して多いのか。	者数が、想定を下回っています。
---------	-----------------

(3) 公共交通に関する意見・要望等

※各会場において様々な意見・要望等が出されました。これらのご意見等については、町執行部に伝えるとともに、議会としても参考にさせていただきます。

ア 槻木生涯学習センター

対象地区／槻木中学校区 担当班／1班	
No.	意見・要望の要旨
1	デマンドタクシーでは、コースと所要時間を運転手から説明してほしい。
2	デマンドタクシーには、私は一度も乗ったことがない。使われる税金がもったいない。
3	歳をとったとしても、健康のために歩いている人もいる。もう少し広く公共交通機関をとらえ、今後の柴田町における町民の健康も含めて考えてはどうか。
4	デマンドタクシーの土日運行をお願いしたい。
5	デマンドタクシーは予約が面倒なので、時刻表がある路線バスの運行はできないか。
6	中核病院利用者の多くは、大河原駅で下車する事から、大河原駅から中核病院までの送迎バスの運行はできないか。
7	デマンドタクシーの運行も5年経過している。一度総括して町民に報告すべきではないか。
8	運転免許を返納する人は必ずいる。その人たちの足を確保できる公共交通を考えてほしい。

イ 柴田町保健センター

対象地区／船岡中学校区 担当班／2班	
No.	意見・要望の要旨
1	公共交通の利用者が少ないのは、使いやすい公共交通が無いからとも考えられるのではないかな。
2	娘が小学生になったら学校まで2.5kmある。通学に使えるバスがあればいいと思う。
3	西住地区では生活圏が大河原町になる。柴田町限定のデマンドタクシーでは利用価値がない。
4	大河原町のタクシー業者と連携し、中核病院に行けるよう、業界の垣根を取り除けないか。
5	仙南広域圏がある。各市町の議会には地域公共交通を広域的に活用できるよう提案してほしい。
6	デマンドタクシーで中核病院に行きたいのはみんなの思い。緊急の課題ではないか。
7	全国には地域のおじいさん、おばあさんが出資して、マイクロバスを運行しているケースがある。柴田町でいえば中学校区位くらいの広さの例だが、行政に頼らずそんなことをしているところもある。
8	タクシーとデマンドタクシーの住み分けをしっかりとやればタクシー会社の理解も得られるのでは。タクシーと同じようなことを望み、低料金で便利にと全部望むのは無理だと思うので、そのようにこれからのあり方を考えていければいいのではないかな。
9	全国の事例を数多く調査分析し、デマンドタクシーの運行範囲とルートを決めるべきではないか。
10	町でバスを用意し、運転手は定年退職者を活用できないか。
11	デマンドタクシーを登録なし、予約なしで利用できるようなにはならないのか。
12	全国の良い事例を情報として提供してほしい。
13	今の公共交通の事業内容を広く知らせていくべきではないか。

ウ 船迫生涯学習センター

対象地区／船迫中学校区 担当班／3班	
No.	意見・要望の要旨
1	デマンドタクシーで町外に行けるシステムをつくるべきだ。
2	デマンドタクシーで、運行には難しい面もあると思うが、町外の乗り入れを実施してもらいたい。
3	外に出歩かない高齢者の支援を含めて考えてほしい。
4	中核病院まで行けないということはかなり前から言われているが、何か別の見方をすれば実現の方法があるのでは。

5	デマンドタクシーで他の自治体にも乗り入れができるよう、議会で積極的に取り組んでほしい。
6	仙南地域広域行政事務組合などで、柴田町から率先して町外乗り入れを提案してほしい。
7	デマンドタクシーで、がんセンターや南東北病院へも運行してほしい。
8	中核病院への通院は高齢者だけの話ではない。デマンドタクシーは町外へも運行してほしい。
9	運転免許証返納について、返納した後の足がない。運転免許返納後に特典を考えてほしい。

懇談テーマ2：町政・議会全般について

(1) 議会に関する質問・意見・要望等

ア 槻木生涯学習センター

No.	質問・意見・要望等の要旨	回答担当	回答
1	議員の2名削減はいつになるか。	議会運営委員会	これまでも議員定数の削減を進めてきており、現時点で削減は考えていません。
2	平成28年度12月会議で甲状腺がん検査の公的補助の請願が採択された。その後の説明をしてほしい。議会で採択されているにもかかわらず、町で何もやっていないのは、町民の願いがないがしろにされ、議会が軽視されているのではないか。議会で採択した請願が生かされるような仕組みづくりをしてほしい。	議会運営委員会	請願の性質として、町に対して影響力を持ちますが、強制はできません。請願の採択をもって、町が必ず実施しなければならないということにはなりません。なお、町の考えとしては、心配のある方については相談に応じるというものでした。
3	昨年、議会が高校生とワールドカフェで話し合った内容を、議会だよりで報告してほしい。	議会広報常任委員会	平成28年11月1日発行のしばた議会だより154号において、柴田高校とのワールドカフェ方式による平成28年の懇談会を2ページにわたり取り上げました。平成29年も、柴田高校との懇談会を開催しましたので、今年度も議会だよりに懇談会の内容を掲載します。
4	各会派の研修の報告を議会だよりにも掲載してほしい。また、議会は現在YouTubeで中継されているので、議会だよりには議会以外の議員の活動を掲載したほうがいいのか。	議会懇談会実行委員会	議会だよりは、議会としての公務を掲載するものです。各会派の研修は、議員の自主的な活動の一つであり、それぞれの議員の議会報告を参照してください。
5	議会で質問して終わりではなく、それが実践されたか、議員には行政を監視する義務もあるので、役割を果たしてほしい。	議会懇談会実行委員会	ご意見として参考にさせていただきます。
6	仙南クリーンセンターでの、放射性廃棄物混焼について、議員一人一人の意見を聞きたい。	議会懇談会実行委員会	この問題については、それぞれの考えがあり、議会懇談会としては、統一した回答はできかねます。

イ 柴田町保健センター

No.	質問・意見・要望等の要旨	回答担当	回答
1	昨年11月に出した、子どもの甲状腺検査を希望する請願が12月の議会で採択されたが、執行機関の判断で実行されていない。なぜ実行できない	議会運営委員会	請願の性質として、町に対して影響力を持ちますが、強制はできません。請願の採択をもって、町が必ず実施しなければならないということにはなりません。なお、町の考えとしては、心配のあ

	のか疑問を持つ。議会で採択したのに実行されないことをどう考えるか。		る方については相談に応じるというものでした。
2	請願を議会で採択したのに町が実施しないのであれば、議員提案で補正予算を組んだらいいのではないか。	議会運営委員会	議員提案で補正予算を組んだとしても、予算の執行権は首長にあります。
3	議会懇談会の前に、区単位での話し合いに議員が出向き、その内容を報告し進めてはいいかがか。	議会懇談会実行委員会	ご意見として参考にさせていただきます。

ウ 船迫生涯学習センター

No.	質問・意見・要望等の要旨	回答担当	回答
1	3月の町議会議員選挙の際の公約は具体的に書いてほしい。	議会懇談会実行委員会	ご意見として承って、各議員に周知します。
2	子どもの甲状腺エコー検査を求める請願が議会で採択されたのに、なぜ町は実施しないのか。	議会運営委員会	請願の性質として、町に対して影響力を持ちますが、強制はできません。請願の採択をもって、町が必ず実施しなければならないということにはなりません。なお、町の考えとしては、心配のある方については相談に応じるというものでした。

(2) 町政に関する質問・意見・要望等

ア 槻木生涯学習センター

No.	質問・意見・要望等の要旨	回答担当	回答
1	町の窓口に受付ロボットを置いてほしい。	総務常任委員会	ご意見にあったロボットの設置については、全国でも事例がないと思いますが、ご意見として町執行部にも伝えます。
2	ため池の保守管理は万全なのか。	産業建設常任委員会	産業建設常任委員会の所管事務調査に組み入れ調査します。
3	走るデパートがほしい。	総務常任委員会	移動販売車を町で運行することは困難です。町執行部を通じて、ご意見を関係団体に伝えるよう要望します。 なお、スーパーやコンビニでは宅配サービスを行っているところもあります。
4	公共施設等総合管理計画の説明会で、いずれ公共施設の縮小・学校の統廃合をしなければ将来成り立っていかないと説明を受けた。現状はどうなっているか。町はどのような施策をしているのか。議会はそれに対してどのようなことをやっているか。	総務常任委員会	今後この計画に基づく個別施設計画が策定される予定になっています。 議会では、各議員が一般質問をしているほか、総務常任委員会では、公共施設等総合管理計画に対しての提言書も出しています。今後も議会として注視していきます。
5	大河原町では定期的に小児甲状腺がん検査を実施している。柴田町でも実施するように考慮してほしい。	文教厚生常任委員会	町執行部に確認したところ、大河原町では、町の事業として、子どもの甲状腺検査は実施していません。27年、28年に町の施設を使用し、民間団体が検査を実施しています。また、柴田町においても、27年、28年に町の施設を使用し、同団体

			<p>が検査を実施しています。</p> <p>宮城県の有識者会議は、原発事故後に、科学的、医学的観点からは健康調査の必要性はないとの見解を示しています。町には専門家がいなかったため、町は県の見解に沿って実施しない考えです。</p> <p>また、放射線による子どもへの健康影響を心配する方に対して、一律に甲状腺検査を行うのではなく、一人一人の心配事を受け止める個別相談を行い対応していくとのことでした。</p> <p>このご意見については、今後の議員活動に活かしていきます。</p>
6	葛岡山公園にトイレを整備してほしい。	産業建設常任委員会	必要性は理解できます。町執行部に伝えます。
7	槻木まちづくりの会に対して、補助金の継続を。	総務常任委員会	自立を目的に3カ年の期限付きの補助金として出されているものですが、要望は町執行部にも伝えます。
8	槻木にもこどもセンターのような施設を設置してほしい。	文教厚生常任委員会	文教厚生常任委員会では、平成29年度の活動テーマを「子育て支援」として調査・活動しています。
			このご意見については、町執行部に伝えるとともに、今後も文教厚生常任委員会で、調査していきます。
9	白幡地区がいつも水害にあうので整備をお願いしたい。	産業建設常任委員会	水害の状況を確認したいので、産業建設常任委員会の所管事務調査に組み入れます。
10	船岡城址公園西側町有地が近隣の工場の車置き場になっていたのに、桜まつり時に駐車場として利用ができなかった。そのことについて平成26年度12月会議の一般質問に対し、町は、翌年2月末まで駐車場にすると答弁したが、2年間そのままだった。今でも無断で車が放置されているので何とかしてほしい。	総務常任委員会	町執行部では29年4月から駐車場の使用許可は認めていません。
		産業建設常任委員会	総務常任委員会としても現地を調査し、現在も車の無断駐車があることを確認したので、町執行部に対し、再度改善するよう指摘しました。
			観光の面から見て、有効利用可能な土地なので、現地を確認し町執行部に伝えます。

イ 柴田町保健センター

No.	質問・意見・要望等の要旨	回答担当	回答
1	図書館建設のスケジュールを知りたい。財源のことは、基金を積みながら具体化に向けて進めてほしい。	文教厚生常任委員会	町に確認したところ、現在、基礎調査の着手時期や基本方針の策定等による建設スケジュールの策定、さらに建設資金の調達方法について検証を重ねているとのことでした。
			なお、議会として今後の状況を注視していきます。
2	4万人の町に図書館がないことでつらい思いをしている。早く図書館を建設してほしい。	文教厚生常任委員会	柴田町図書館は、平成22年5月29日に開館し、蔵書数は5万冊弱ですが、読みたい本が蔵書にない場合は、他の図書館との相互貸借やリクエスト購入で対応しています。

			新図書館について、町では現在、基礎調査の着手時期や基本方針の策定等による建設スケジュールの策定、さらに建設資金の調達方法について検証を重ねているとのことでした。なお、議会として今後の状況を注視していきます。
3	子ども・子育て支援新制度になって、自分は3歳未満児の保育料が28年9月から1万円以上上がった。おかしいのではないかと。	文教厚生常任委員会	文教厚生常任委員会で今後調査します。
4	大阪の守口市では、今年の4月から0歳～5歳までの保育料が無料となる。柴田町が保育料無料を県内で最初に実施してもいいのでは。	文教厚生常任委員会	文教厚生常任委員会で今後調査します。
5	共働きのため、放課後児童クラブを利用している。土曜日に行き預けたいと思ったが、できれば預けなくて親に預けると言われた。なぜ利用できないか。	文教厚生常任委員会	文教厚生常任委員会で今後調査します。
6	距離や危険性を考慮し、小学校低学年向けのスクールバス運行を検討してはどうか。	文教厚生常任委員会	見守り隊や交通指導隊の方々のご協力により、児童の登下校の安全を見守っている現状です。このご意見については、今後の議員活動に生かしていきます。
7	船岡中学校の南側フェンスは、どこからでも人が入れる。また、雑草も伸び放題である。教育委員会は何をしているのか。	文教厚生常任委員会	10月18日に文教厚生常任委員会の所管事務調査で現地確認しました。学校から現状や要望を聞き、文教厚生常任委員会として、改善するよう町執行部に要望しました。
8	ごみの収集を、アメリカでは夜中に行っている。カラスも来ない。音の問題はあるが夜中にできないか。	総務常任委員会	ご意見として承り、町執行部にも伝えます。
9	役場職員を、アメリカ等の先進国に1カ月ぐらいホームステイさせてはどうか。	総務常任委員会	職員の研修は大切だと考えますので、ご意見として承り、町執行部にも伝えます。

ウ 船迫生涯学習センター

No.	質問・意見・要望等の要旨	回答担当	回答
1	街路樹、植込みの剪定を町で年2回やっているが追いつかない。行政区のボランティアも自分たちできれいにしているが、剪定回数を増やすなど、住んでいる町をきれいな町にしてほしい。街路樹が生い茂っていると、茂みで街灯が暗くなったりする。	産業建設常任委員会	剪定場所や方法など、全体的な調査が必要なので、これからの産業建設常任委員会活動に生かしていきます。
2	10区の総会で県民共済の2階が避難所に指定されたが、なぜ船迫こどもセンターでないのか。	議会懇談会 実行委員会	この避難所は町で指定したものではなく、地区で話し合い指定したものなのであれば、地区で相談してください。
3	若葉1号公園の2本の門柱が震災で倒れたままになっている。また、ベ	産業建設常任委員会	ご指摘については、産業建設常任委員会の所管事務調査に組み入れます。

	ンチに背もたれがない。		
4	柴田大橋から5カ所ある信号が連動しておらず、柴田大橋が車でつながってしまう。	総務常任委員会	信号機の管理は県の公安委員会です。県公安委員会に対し要望を伝えるよう町執行部に依頼します。
5	Jアラートに伴う町からのエリアメールで頑丈な建物や地下に逃げなさいとあるが、どこに行けばいいのか。表現を分かりやすく工夫してほしい。	総務常任委員会	ミサイルに関してのエリアメールは国の消防庁が対象地域に一斉送信するもののため、町では、表現を変更することはできません。
6	自転車が安全に走れる公道になっていない。子どもたちのためにも調査して走りやすい道路をつくってほしい。	産業建設常任委員会	子どもの安全上重要な問題なので、産業建設常任委員会活動に生かしていきます。
7	白幡地区では、大雨が降ると排水の対策がなされていないところがあるので、直してほしい。	産業建設常任委員会	水害の状況を確認したいので、産業建設常任委員会の所管事務調査に組み入れます。
8	町の公衆トイレはきたないところがある。観光客も来るのできれいなトイレにしてほしい。	産業建設常任委員会	観光面から見て、重要な施設なので町執行部に伝えます。
9	千桜橋ができたが、1億3千万円の事業で東建が随意契約でやったが、議会はチェックすべきでは。	産業建設常任委員会	線路を跨いで橋を架けるのでJR関連の業者になりました。議会も審議をして、承認可決しております。
10	下水やガスなど地下埋設工事をした。復旧基準は守られているか。掘削幅とか、1車線を使うとか、工事では道路占用したときに守られているのか。	産業建設常任委員会	道路復旧の基準が守られているか、産業建設常任委員会所管事務調査に組み入れます。
11	船迫中学校から裏山を通過して4丁目の団地に行くのに、轍など歩道の傷みがひどい。給食運搬車が通っているのではないかと。歩道ではなく車道用の舗装をしてほしい。中学生がランニングなどで転んだりするおそれもある。	産業建設常任委員会	現地を確認調査しました。意見のとおり道路の傷みがひどいので、町執行部に伝えます。
12	夫と2人で仙台の病院に通院するとき、よその地区は、障害者手帳を提示すれば、タクシーの初乗り運賃が無料のところがたくさんある。県に投書したが、答えは「自治体に任せる」というものだった。障がい者に対してタクシー運賃の補助をしてほしい。	文教厚生常任委員会	町では、社会福祉協議会がふれあいネットワーク事業を実施しており、また、町内の移動であればデマンド型乗合タクシー（はなみちゃんGO）があります。このご意見については、今後の議員活動に生かしていきます。
13	高齢者が町の介護施設に入所するのに何年も待たなければならないようだが、町はどう考えているのか。	文教厚生常任委員会	特別養護老人ホームなどの入所については、要介護度が高い人が優先になっているようです。現状確認のため、文教厚生常任委員会でも今後調査します。

2 団体懇談会

第1ラウンドでは、出された意見を分類して掲載しています。

第2・第3ラウンドの意見はそのまま掲載しています。

【まとめ】

ワールドカフェ方式の話し合いは、世代間や地域、経験を超えて多くの意見を引き出し、共有するための手法として有効である。

今後はこの懇談会で出された意見を、各議員の活動や委員会の活動などへ生かしていくことが重要である。

■テーマ①「自分の住む町の誇りに思うこと、残念に思うことは何ですか？」(原文のまま)

誇りに思うこと	残念に思うこと
<p>【自然関係】</p> <ul style="list-style-type: none">・ さくら。・ 自然。・ 蔵王、白石川、桜、春は特にきれい!!・ 国の指定の天然記念物あり!! (雨乞のイチョウ)・ 花のまち。 <p>【まち関係】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 柴田高校。・ 仙台大学がある。・ 小学校から大学まである。・ 宮城県唯一の肢体不自由者の特別支援学校がある。・ えぞこホール。・ 蔵の街並み。(村田)・ 道の駅にぎわっている。・ 買い物がしやすい。・ 地域のコミュニティが強い。・ まちなかを車で簡単に動ける。・ コンビニはわりとある。・ おいしいラーメン屋が多い。・ 国民宿舎あぶくま荘。・ 斉理屋敷。・ 自衛隊がいる。・ ロケット。	<p>【まち関係】</p> <ul style="list-style-type: none">・ スタバがない。・ ゴミが多い。・ 本屋さんがない。・ スーパーが少ない。・ 買い物をするところがない。・ 夜暗すぎる・ 大きい病院まで遠い。・ 電車の本数が少ない。(柴田)・ 「阿武急」運賃がたけえー。・ 温泉がない。・ 買い物が不便。・ ゲームセンターがしょぼい。・ 外灯が少ないから夜道がキケン!!・ 役場庁舎が古い。・ 道路がぜい弱。 <p>【人関係】</p> <ul style="list-style-type: none">・ ヤンキーが多い。・ 若い人の町外流出が多くとても残念・ 暴走族がうるさい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 水害が多い。・ イノシシが多い。

<ul style="list-style-type: none">・千桜橋。・お釜がある。・スキー場。・コンビニが多い。・バイパスが近い。 <p>【人関係】</p> <ul style="list-style-type: none">・素直な性格の人が多い。・地元の高校生の元気が良くてきもちよい。・優しい。・若者が多い。・ボランティア活動が多い。・美人が多い・小室達氏の出身地。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none">・お米がおいしい。・自然災害が少ない。・農業が盛ん。・うーめん。・夜は警察が多い。・外国人客が増えた。	
---	--

■テーマ②「20年後、地元で暮らす、地元と関係を持ち続ける自分について想像してください。そこではどのような仕事をしていて、どんな人々とどんな暮らしをしていますか？」(原文のまま)

どのような仕事 (自分)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の学校と関わる!!ボランティア!! ・ 地元のスポーツに関わる。 ・ 将来、教員になって、同級生のお子さんの成長の手助けができるかも? ・ 地元で働き続けたい。・ロードレース (マラソン) に関わりたい。・美容、健康関係で地域に貢献したい。(ヨガなど) ・ 家族が食べるものは自分で作りたい。(畑・田んぼ) ・ 地域想いの若者であってほしい。・美容室を開いて交流する。・世界に行きたい!! ・ 伝統文化の継承。 ・ 何でもいいからスポーツを極めたい。(プロ) ・ 保体の教師、管理職。・働きたくない。・家の仕事を継いでいる。でも東京に行きたい。 ・ 仙台消防に勤務。・警察官、地域課 (剣道) 続けて結婚。 ・ こども3人、教師になっている。・警察官、生活安全課、少年係。 ・ 特練、結婚しても続ける。・銀行員に就いている。 ・ 一戸建てを建てている。・お金をたくさん持っている。・結婚に失敗した。 ・ 年金には頼らずに現役でバリバリ働いていたし!! ・ 孫の結婚式で、長渕剛の乾杯を歌いたい。 ・ 自分の年齢を考えずに介護のボランティアをしている。 ・ 埼玉に戻って教員をやります。・イベント司会 (MC)。・孫が10人。 ・ 区長をしている。・美容師になり、年収300万くらいで、一般的な生活を送りたい。 ・ 北海道で教員をやる。・結婚。・子ども6人生んでいる。 ・ 結婚して子供2・3人。家を建てる。・出産→専業主婦に。 ・ 鬼籍に入っている (と思う)。・子供達がほこりをもって働いている姿を見る。 ・ 特別支援学校の先生になり地元で働きたい。・宮城県で先生になる (就職する)。 ・ 地元で働く。・教員になって地元に残る。子育てをする。 ・ 43歳。宮城県の教員になっている。硬式野球部の監督。子どもは3人。 ・ 38才。キャリアウーマンになります! ・蔵王町でご老人と関わっていく。 ・ 37才。しゅふしながら仕事。楽器を続けていたい。 ・ 86才。生きてるかな? (元気で長生き) ・地域のリーダーとして活やくしたい。 ・ 青森で鬼教師。 ・役場職員。 ・柴田町役場で働く。 ・地元で働きたい。 ・ 父、母になってたい。 ・働きながら子育て。 ・柴田で公務員。 ・ 地元でまごと同居の生活。 ・現役で80歳過ぎても働いていたい。 ・ 仙南地域で保育士。子どもが二人。 ・起業支援に力を注いでいきたい。 ・ 雇用環境の整備への取り組みにかかわってほしい。 ・友達の子供が教え子になる。 ・ 教師になっていて、中学生になる子どもがいる。 ・ スポーツ関係の仕事を地元で行い、地域の人との交流を深める。

- ・若い人とまちづくりを。
- ・企業を起こして地域のためにやっている。 ・スポーツに要する施設を作ってやる。
- ・消防士として、地元の人々の命を助ける。 ・スポーツ関係の仕事。
- ・地元のスポーツクラブと関係している。 ・旅行したい。 ・東京進学後地元で頑張りたい。
- ・教師となり、教員仲間、地元の友と草野球をする（ボウリング）。
- ・物流をしながら、ボランティアや地域活動を行って、広い幅の地域の人々と関わりをして行きたい！ ・スポーツ観戦。 ・写真を撮る！
- ・車（スポーツカー中古）を買う！！ ・公務員になる。 ・川崎で橋本環奈と結婚したい。
- ・キッチンを作る工場で働く。 ・お酒を飲む。 ・車を買う。 ・ゴルフ。
- ・もう1回車を買う。 ・教員として働いている。 ・地元（千葉）に戻り働く。
- ・介護予防の教室で体操をしている。 ・地元の学校でカウンセラーの先生。
- ・栄養士になる。 ・1人暮らしかも？したくない。
- ・どこにいるか？仕事したい。 ・スポーツしていないかも。音楽？
- ・旅行（大好き）。 ・38才。結婚している。子ども2人。 ・保育士。ずっと仕事。
- ・夢。保育園を持つ。 ・スポーツする時間ないかも。
- ・ランニング、スポーツ、アクティビティな生活。
- ・小学校の先生。 ・家を建てる。大胆にリフォーム。
- ・すばらしい奥さん1人いる。子ども2～3人。
- ・地元で経済的に落ち着いた生活。 ・ガッチリお金をためる。
- ・ダンナ1人、子供3人。職業をしながら家事、育児。地元で家を建てている。
- ・まだまだ元気で「ゴルフ」したい。 ・楽しむスポーツ。 ・イトーチェーンのどこか。
- ・県共済のどこか。 ・議員だったらいる。

どんな人とどんな暮らし

- ・仕事先の人に地元を知ってもらおう。
- ・成人式以外で地元の同級生と交流する会などを開きたい。
- ・同級生と子どもたちを混ぜて女子会したい。
- ・人が集まりたくなる場所（図書館や大きい公園）で、老若男女誰でも何でも話したい。
- ・スポーツでつながる。 ・マゴといっしょに地域の子供達と楽しく遊んでいる。
- ・地域の人達と仲良く。 ・草野球やソフトボールを地域の人たちとしている。
- ・孫と散歩している。人口増加した。 ・孫のめんどろをみている。
- ・夫婦二人で細々と暮らす。 ・結婚している。 ・アパートに犬と私と2人暮らし。
- ・周りの人々に支えられている。 ・大学の同期に会いに年1回は宮城に来ます。
- ・小学生にバレーの指導をしている。 ・毎日飲み歩いている。 ・毎日千桜橋を散歩。
- ・家族と仲良く。 ・元気で隣近所の人とお茶飲み。 ・子どもにスポーツをさせたい。
- ・布袋まつりで山車ひき。 ・布袋まつりでおはやし。
- ・自分と同じ地域で子供に育ててほしい。
- ・近所の人達と年がはなれていても上手に付き合っていきたい。

- ・今の友達と家族ぐるみの付き合いを持つ。 ・友達が経営する飲食店でごはん。
- ・元気なお年寄りとして、地域貢献をはたしていたい。
- ・他の地域で生活しても帰ってきたい。 ・地域組織の参加型。
- ・スポーツできる場所が増えている。 ・スポーツ施設が増えている
- ・河原町、子どもが多い。笑いがたえない。 ・地域に戻る。残っていたい。
- ・イベントでの交流→若者が積極的に参加、企画（これる時に、来れる人で）。
- ・バレーボールを教える。 ・美人な嫁がいるけど、もっと美人とお茶したい。
- ・1日1日を生きることを考え、ひ孫と遊んでいるかなあ？
- ・地元で暮らす。地元と関係を持つ。 ・皆で生活していたい！
- ・おだやかに、楽しく、1人で余生を過ごす。 ・動けるなら旅行（全国）したい。
- ・チームでスポーツ（ランニング、テニス、バレー）

■テーマ③「そんな20年後が実現するために、今取り組まなければならない一歩は何でしょうか。大人に応援してもらいことは何でしょうか？大人が応援できることは何でしょうか」（原文のまま）

今取り組まなければならない一歩

- ・忙しい時こそ他人を思いやる事。 ・相談できる人を探す。 ・健康に留意する。
- ・無病息災でいたい。 ・若者の集いの場を増やす。 ・保育士の資格を取る。
- ・多くの人が住みやすい環境づくり。 ・伝統、文化を引き継ぐ。
- ・若者が働ける場所をつくる。 ・子育て環境をもっと整備（施設、報酬）する。
- ・地域を維持するために今後も頑張る！ ・若い人たちの本音を聞く耳を持つこと！
- ・自分でできる事は自分で積極的にする！ ・しっかりと勉強をする！そして資格をとる。
- ・若者が働きやすい場所にする！ ・大河原祭りが多。減らさないように。
- ・交流できる場所づくり。 ・キャリア教育。 ・今からも健康づくりを！！
- ・交通の便の整備、子どものために安全に！ ・頼りやすい環境づくり。
- ・戻りたくなるようにいつまでも元気な町に！ ・過ごしやすい町。
- ・人の多い元気な町。 ・みんなが助け合う町。
- ・大人と子どもで交流を深める。 ・安全な町づくり（外でよく遊べる環境）。
- ・与えられている仕事をしっかり取り組む。
- ・健康を第1に考え、週2回はアルコールを断つ。
- ・住民のニーズをしっかりと受け止め反映していく。
- ・大学生、高校生の話を聞く。 ・何事にもチャレンジすること。
- ・必要な知識を身につける。 ・大学に行く為に受験勉強をする。
- ・子育て支援日本一。 ・若者の定住策。 ・子育て支援の充実。
- ・目の前のことを全力で取り組む。 ・はっきり発言する。実行する。
- ・勉強！ ・現場経験！ ・健康管理。 ・伝統文化を守る。 ・災害のない町をつくる！
- ・子育てしながら働ける仕組み。

- ・待機児童を少なくするための取り組みをしていきたい！
- ・伝統的な祭り、引きつぎかかわりが第一歩。 ・学校単位での祭参加。
- ・体育館借りれる（みんなに共有） ・勉強（銀行のために）。 ・勉強！
- ・お金をためる。 ・体力をつける。 ・車の免許。 ・遊び。

大人に応援してもらいたいこと

- ・経済的支援が欲しい。 ・子供が遊べる屋内施設が欲しい。（地域の友達が集まる）
- ・税金を下げしてほしい。 ・ホメてくれたり、時には厳しい言葉を言ってもらいたい応援してほしい。
- ・遊び場ができてほしい。（ボウリング場など）
- ・遊び場が多くあってほしい ・待機児童が減るように口だけじゃなく実行してほしい。
- ・子育ての支援。 ・チャレンジすることを応援して欲しい。
- ・奨学金を増やしてほしい。 ・やりたいことをやらせて欲しい。
- ・金銭的援助。 ・しそ巻らっきょ、おいしい。
- ・大学まで通わせてもらったので大丈夫です。 ・給付型奨学金。条件の改善。
- ・子育てできる環境。 ・保育所、幼稚園をたくさん作ってほしい。
- ・スポーツ施設の充実。 ・コーチ等の充実。 ・整骨院（メンテナンス）が高校生以下無料。
- ・手当、補助金。 ・地域の人と遊ぶ場所、仕事。 ・地元の保障。 ・お金が欲しい。
- ・今のままでは柴田町に住めません。（仕事の面で。夢を追うとなると都会になってしまう）
- ・体育館ができて活気あふれる町に。多くの目的で使える!! ・経済的支援が必要。
- ・現金がほしい。 ・子どもを預ける所がほしい。 ・仕事で生きるアドバイスがほしい。
- ・社会勉強の場を増やして欲しい。（誰でも参加できる）

大人が応援できること

- ・困っているときは相談にのるよ。 ・お金が貯められるよう。 ・生活安定。
- ・生きる上で必要なことを教えること。 ・地域の支えが大切。 ・現金を出す。

資 料

1	一般懇談会のアンケート結果	-----	1
2	団体懇談会のアンケート結果	-----	4
3	団体懇談会（個人ワーク）（感想）	-----	5
4	平成29年柴田町議会懇談会開催要領	-----	12
5	議会懇談会実行委員会の活動経過	-----	19
6	平成29年度柴田町議会議員研修会資料		（別紙）

平成29年9月20日 議会懇談会(一般懇談会)アンケート集計

参加者数とアンケート回収数		槻木生涯学習センター	柴田町保健センター	船迫生涯学習センター	計
	参加者数	14	20	16	50
	アンケート回答数	9	20	14	43
	回答率	64.3%	100.0%	87.5%	86.0%

お住いの小学校区		槻木生涯学習センター	柴田町保健センター	船迫生涯学習センター	計
	船岡小学校区		14		14
	槻木小学校区	8		1	9
	船迫小学校区		1	11	12
	東船岡小学校区		1		1
	柴田小学校区	1	1	1	3
	西住小学校区		2	1	3
	不明		1		1
計	9	20	14	43	

性別は		槻木生涯学習センター	柴田町保健センター	船迫生涯学習センター	計
	男性	8	15	12	35
	女性	1	5	2	8
	計	9	20	14	43

年代は		槻木生涯学習センター	柴田町保健センター	船迫生涯学習センター	計
	20代		1		1
	30代		2		2
	40代		1		1
	50代	1		3	4
	60代	5	6	2	13
	70代	3	7	8	18
	80代以上		3	1	4
計	9	20	14	43	

参加のきっかけは(複数回答)		槻木生涯学習センター	柴田町保健センター	船迫生涯学習センター	計
	回覧板	3	5	6	14
	チラシ		2	2	4
	お知らせ版	5	12	6	23
	町のホームページ		1		1
	議員呼び掛け			1	1
	その他	1	1	1	3
計	9	21	16	46	

その他のきっかけは	・ゆる. ぶらの掲示板を見て(柴田町保健センター) ・友人に誘われて(船迫生涯学習センター) ・行政区の役員だから(船迫生涯学習センター)			
-----------	--	--	--	--

参加回数は		槻木生涯学習センター	柴田町保健センター	船迫生涯学習センター	計
	初めて	4	7	3	14
	2~3回	3	10	8	21
	4回以上	2	3	3	8
計	9	20	14	43	

平成29年9月20日 議会懇談会(一般懇談会)アンケート集計

		槻木生涯学習センター	柴田町保健センター	船迫生涯学習センター	計	
懇談会の 内容は	テーマ	良い	5	12	9	26
		悪い	2	2	1	5
		無回答	2	6	4	12
	開催曜日	良い	8	11	12	31
		悪い	9	2		11
		無回答		7	2	9
	時間帯	良い	8	12	11	31
		悪い	1	1	1	3
		無回答		7	2	9
	時間	長い	1	2	4	7
		ちょうど良い	7	10	8	25
		短い	1	1	1	3
		無回答		7	1	8
	開催場所	良い	9	13	13	35
		悪い		1		1
		無回答		6	1	7
	資料	分かりやすい	7	8	8	23
		分かりにくい	2	4	3	9
		無回答		8	3	11
	議員の説明	理解できた	8	11	10	29
理解できなかった		1	3		4	
無回答			6	4	10	

懇談会の 内容への 意見	テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・焦点がずれていた(槻木生涯学習センター) ・参加者の意識がデマンド中心になってしまったことは残念でした。町づくりの視点が必要だったと思います(槻木生涯学習センター) ・資料を用意してくださったので良かった(柴田町保健センター) ・町民に身近な問題(柴田町保健センター) ・自分のこれからの生活にとって大切(柴田町保健センター) ・中核病院にデマンド車両直行できないか？を主体にすれば良かった(柴田町保健センター) ・漠然としている(船迫生涯学習センター) ・普通(船迫生涯学習センター)
	開催曜日	・週中が良い(柴田町保健センター) ・土日に(柴田町保健センター)
	時間帯	<ul style="list-style-type: none"> ・夜の方が時間的に良い(柴田町保健センター) ・もう少し早い時間に始めてほしい(柴田町保健センター)
	時間	<ul style="list-style-type: none"> ・質疑、意見が多かった(槻木生涯学習センター) ・もう少し長く(槻木生涯学習センター)
	開催場所	・地区ごとに(柴田町保健センター)
	資料	・工夫が必要(柴田町保健センター)
	議員の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・準備不足では(槻木生涯学習センター) ・ポイントがずれていた(柴田町保健センター)

平成29年9月20日 議会懇談会(一般懇談会)アンケート集計

今後のテーマは (複数回答)		槻木生涯学習センター	柴田町保健センター	船迫生涯学習センター	計
	環境		5	1	6
	教育	1	3	2	6
	子育て	1	4	2	7
	介護	1	2	3	6
	地域活動	2	3	5	10
	その他	3	2	2	7
	無回答	1	3	2	6
	計	9	22	17	48

その他のテーマは	<ul style="list-style-type: none"> ・基盤整備(槻木生涯学習センター) ・工場立地(槻木生涯学習センター) ・懇談会形式より、ワールドカフェ形式で実施したほうが、実のあるものになると思う(槻木生涯学習センター) ・原子力問題(柴田町保健センター) ・柴田町のビジョン(柴田町保健センター) ・町の未来(柴田町保健センター) ・道路、側溝(雨水整備)の整備が近年ほとんど実施されていない！道路はやせて、マンホール蓋が浮いて通行しにくい！年次的に整備してほしい(柴田町保健センター) ・観光(船迫生涯学習センター) ・デマンドカーについて(船迫生涯学習センター) ・免許返納者に対する恩典(船迫生涯学習センター)
----------	---

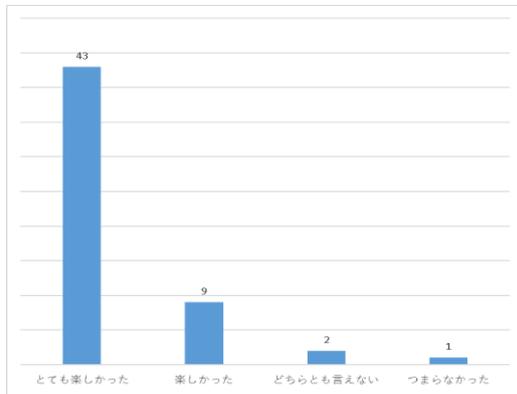
議会への意見	槻木生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの命と健康を大事にする町政をお願いしたい。「小児甲状腺がん」について議員の皆さんに理解を深めてほしい。 ・テーマに対して、もっとデータを整理して、懇談したい。 ・我々のために、頑張ってください。 ・ご活躍、ご苦労様です。期待しています。町民の願いを少しでも努力していただきたいです。
	柴田町保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・前向きに行動する議員さんが多く、誇りに思います。 ・議会での質疑応答について。 ・資料が少ない。 ・今回の懇談「これからの公共交通」でしたが、もっと現実的なテーマにしてはどうか。検討してほしい。 ・小学校区に戻して、少人数であっても地域の声を聞くべきではないだろうか(議員が都市部に集中していることを考えると)。 ・私見を求められ言いにくいことをきちんと話されたこと、良いと思いました。 ・採択された請願が活かされるような仕組み、町長の判断のみによって無効、無意味にならないような仕組みの構築を強く望みます。 ・議会懇談会の年開催を増やす。もしくは、地域の集まりに議員さんから積極的に参加して意見を聞いてほしい。
	船迫生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回開いてほしい。 ・年2回以上開いてほしい。 ・選挙の際に具体的に公約を記載されたい。

※アンケートの自由記述

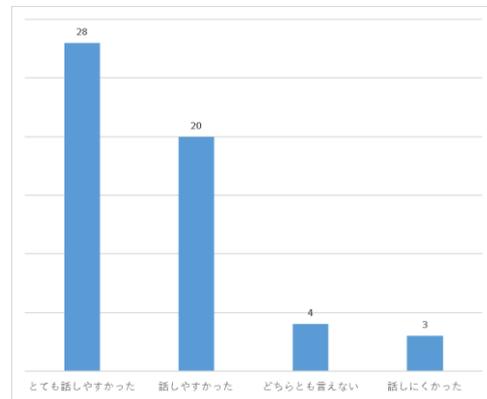
アンケートの自由記述については、議会として参考にさせていただきます。

高校生・大学生のアンケート

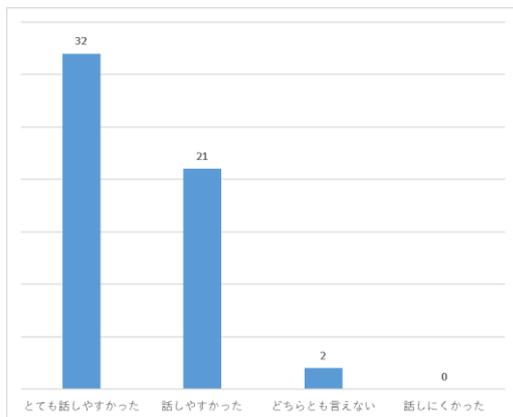
(1) 参加してどうでしたか



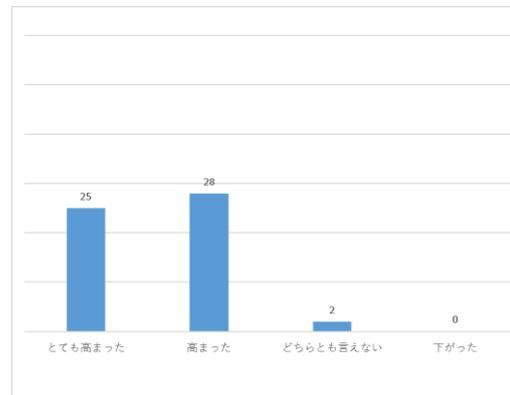
(2) 本日の話しあいのテーマはどうでしたか



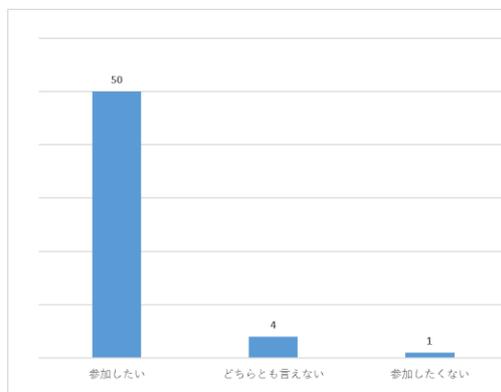
(3) 話しあいの手法（ワールドカフェ）はどうでしたか



(4) 柴田町や自分の住んでいる地域について興味関心は高まりましたか



(5) また機会があれば参加してみたいですか



※回答者は（●）ごとに原文のまま掲載

（高校生）

- 自分が気づかない自分の住んでいる町の良さが多くあると知った。
20年後、町を良くするアイデアは多くあるがそれを実現するためにはお金が必要になると思う。
柴田に映画館と、遊ぶ場所を!!
- 映画館ほしい。
地元で働いて、結婚していたい。
東京は住みたいじゃなくて遊びに行きたいところ!!
何だかんだ地元がいい!
- 改めて自分の住んでいる町の良い所を見つけられた。
ずっといたいと思える町をつくるのは大事なことだと思った。
都会に行くけど戻ってきたいと思う人がいた。
- 色々な意見があるんだなと思った。地元で生活するのも悪くないと思った。
- （感想・気付いたこと）皆んな地元が好き・大切なんだなということと、その地元をよりよくしたいという思いがとても強く感じました。また、それぞれの人たちの夢や経験が豊富で自分もそのような希望を持った人間になっていきたいなと思いました。
（言葉）一つの目線では見えないものがある。→今までの自分もそうだったように、地域の人には見えない良さもあると改めて思いました。
- （一番心に残った言葉）一日一日を大切にすること。
（気づいたこと）いろいろな人の話を聞くと、やっぱり一人一人考えていることが違っていてその話を聞いているうちに自分の考えも少しずつ変わってくるなと感じました。
- たくさんの方と交流する機会があまりないので、いろんな情報や考えを共有することができて良かったです。
待機児童のことを言ったら共感してくださったり、議会の方に伝えると言っていたので、意見を言って良かったなと思いました。
- 多くの人のお話をきいて自分の地元についての考え方や地域への想いというのを知れた。いざ話してみるとたくさんの良い所、悪いところが出てきて、柴田町の問題や仙南地区の問題を知れた。最終的には自分の地元に貢献して楽しく過ごしていきたいと思った。
- より活気のある町をつくるには子どものことを考えた町づくりが必要だと考えている人が多いことがわかりました。
- 子どものための町づくりを活発化していきたいという考えが多かった。
植物や食べ物を作り自然とともに暮らしたい。
町の施設を充実させる。
- 意外と地元に戻ってくる考えの人が多くいると分かりました。住みやすい町づくりは、出来ていると感じました。これからは、物より安全な環境が必要だと思います。
- 今日、議員の方や町の大人の人の声が聞けてとても新鮮でした。
いろいろな進路がある中で最後には“地元に戻ってきたい”という意見が多く、意外に思いました。

- たくさんの人の進路や将来について聞いたが、思ったよりも「地元に残りたい」「帰ってきて地元で就職したい」という人が多く、意外だった。⇒“地元に残り貢献したい”とと思っている人が多いので、あとは、それをどう実現させていくことが大切だと思います。
- 大河原は思っていたよりもいい町。
地元のためにできる事をさがそうと思った。
協力する事が大切。
- 地元で働きたいと思った。地元の学校でカウンセラーとして働きたいと思っていたけど、それと同時に町の行事に積極的に参加していきたいと思った。
- それぞれの地元では、沢山良い所があり、更に良くするために何をしたらいいのか具体的に案があがっている。
働きやすい町づくり。
若い人が積極的に。
- 地元の近くの町のことでも全く知らなかったことも知ることができ、また自分の地元を見つめ直すことができたので、とても良い時間を過ごすことができました。
- ワールドカフェという言葉は初めて聞いた時は、よく分からず、固いイメージだったが、いざ話し合ってみると、とても楽な雰囲気、話し合うことができ、楽しいものだということがわかりました。このワールドカフェという話し合いを広めていければ良いと思いました。
- 思っていた以上に、議員さんは、若い人のことを考えていたということがわかりました。
「交通の便」「遊ぶ場所」など、改善には限界があるなど感じた。
「ずっと地元になりたい！」と欲しているが、実現するのは少し難しいと思った。
改めて、地元の良さ、あたたかみを感じられた。
- スポーツ施設を増やすなどの、大人が子供のために協力してあげたりするなどの若い人のためのまちづくりを目指して欲しいと思った。
- それぞれの地域ごとにある政策にあまり差をつけなければ、問題は減るんじゃないかと思った。土地や交通機関の問題は難しいとしても、子育てに関する事などは政策を考えれば変わると思う。
- 将来の年収300万くらいを望んでいると言ったところ、もっと夢をもった方がいいと言われた。現実的すぎるのもよくないのだと気づいた。
人口減少に困っている地方はもっと今回のようなワークショップをひらいて、若者の意見を実現することができれば、今よりは人口減少などに歯止めがかかると思った。
- お金より価値のあるものがそこがあれば、人はそこに行く。
地元では達成できない目標もある。
- 地元を良くしていくためには全ての世代の力を合わせていくことが重要だと感じた。
- 地元のことや自分の夢を少しでも考えることが出来てよかった。
「早く大人になりたい。」「学生でもいたい！」
- 地域から若者が減っている。
地域は、若者が定住することを望んでいて、そのために何かいい策はないかと探している。
“一度地元を出ても、戻ってくると、いいことがある。”
- 離婚は悪くない。

- みなさんそれぞれが夢を持っていてそれを実現させるためにそれぞれが頑張っているんだなと思いました。
人と人のつながりが非常に大事になっていてこういった交流が現在は少なくなっているなのでこの様な会は素晴らしいと感じました。
議員さんらは本当に地域をよりよくしたい気持ちが伝わりました。
- 20年後について考えているときに「みんなちゃんと考えているんだね」と言われたのが心に残っています。
地元のいい所、悪い所をすぐに挙げられなかった。そのときに、自分の住んでいるところをきちんと考えたのは初めてだなと思いました。改めていい所、悪い所と言われると、難しいものだなと思いました。
- 一度、都会の方に行こうと思っている人も、いずれは地元に戻りたいと言っていたし、このままずっと地元に残るといふ人も居て、思ったよりも地元に住みたい人が多いことに気付いた。
柴田周辺に住む人は桜のことについて言う人が多かったので、柴田＝桜のイメージは強い。
娘さんが私の住んでいる所の近くに住んでいるらしい。
都会に住んでいると便利なことばかりだが、はずれに住んでいる人は改善してほしいと思っていることが多い。
- 考えていること、思っていることは、口に出して相手に伝えること。
行（交）通安全！
- 若者がしっかり発言しなければならないこと、それを実行するのも大切。
悩みはため込まないで大人に相談をする。
- はっきりと伝える！！
いろいろな考えがある。
- 様々な人達と協力をして、地元などの活性化を進めることが必要。
様々な人達との話し合いの場をつくることを増やし、交流を深める。
将来のことを考え生活することが大切。
- ご老人と関わっていく。
今まで近所のご老人とあまり関わっていかなかったけど、今回の企画によって、人生のせんぱいとしての意見や経験した話を聞けたり、アドバイスなども聞くことができました。それにより、協力していけるということに気付きました。
- みんな夢があってそれに向けて頑張っている。
柴田町や地元を良い町にしたいと思っている。

(大学生)

- 地元を思う気持ちが自分が思ったより強い。
4年間住んだ町にもまだまだたくさん素晴らしい部分がある。
地元好き。
- 議員さん、高校生、大学生などの様々な立場の人が集まると、自分が今まで視野に無かった意見も見えてくる。

みんな地元が好き！！いずれは地元に戻りたい！！

- 苦労した分だけ大成する。
私が高校生の時もワールドカフェがあつたらもっと違っていたかも。
たくさんの方々とお話することで知らなかったことも知ることができた。
- 高校生の現実をしっかりと見ている将来像。
地元愛。
柴田町の未来は明るい。
大学で教員を目指す者にもっと社会勉強できるような環境を。
- はっきり発言する！
人それぞれにいろいろな生き方がある！
- 大学4年間を柴田町で過ごしたことで、地元の友達との関係が希薄になってしまったという言葉が強く印象に残りました。
仙南に住んでいる人は地元の良いところ、悪いところというのをあまりわかっていないという印象を受けました。
ワールドカフェに対しての意見ですが、同じ席に議員さんが2人いるというのはあまり良いことではないような気がします。本当に若い人の意見が聞きたいのであれば、議員さんを中心に高校生の話をメインに聞くべきなのではないかと感じました。
4年間住んだ柴田町の未来のために、このイベントに参加できて良かったです。
- (一番心に残った言葉)「自分の考えを持つことが大事」。
(気付いたこと)話すことで相手を知ることができる。自分の考えを書くことの楽しさ。否定的に考えをとらず、肯定的に考えることの大切さ。
- 今できることをやる。
周りの人と意見を交換することで新しい発見が見つかる。
地元で過ごすことの魅力。
- 住んでいる町のことをまだまだ知りきれないと感じたので、もっと地元と向き合いたいと思った。
自分のやりたいこと、やりがいを優先するのも良いが、地元の為に行動する人生も良いかも、と思えた。
- 教師になっていて中学生になる子どもがいる。
将来を見る、考えるということは、楽しい事だが先がおもいやられると思った。求めるだけじゃなりたたないと思う。
夢をもっていいがそれをなしとげるには考えは必要だと思う。
- 高校生、大学生、大人が話し合いをすることはあまりできない経験である。若者ならではの考えであつたり大人の方の経験を踏まえた話しを聞けたので良い時間になった。このような若者と大人の交流が増えれば町の活性化に繋がるのであろう。
- 夢のある生徒はたくさんいるが、夢を実現させるのに上京しなければならない事。
地方ではその職に就けない。
- (気付いたこと)ワールドカフェを開催することの良さ。

働きながらも運動ができる楽しい生活。

- 地元を良いところをしたい。
子どもから老人まで仲良く住みやすい町づくりを。
将来は宮城県や地元のために働きたい学生が多い。
- 私は地元から4年前に柴田町に来て住んでいますが、今日の話し合いを経て、自分がこんなに今住んでいる町について無知であることに気付かされました。特に、高校生の方々が、地元就職したい理由や逆に出たいという意見を聞いて、宮城県民として無関心ではられない問題なんだと感ずることができました。
- 高校生、自分ら大学生はそれぞれ夢があり、その夢を叶えながらも少しずつ地元に関わっていこうとしているのが見えた。
人口を増やすためにも自分も地元に戻って何かできることがあればやりたいと感じた。
話し合いの中では自分の主張も人の主張もしっかり受け止める、納得のできる楽しいものであった。
- 駅があるというのはとっても便利。
大人にはお金のサポートをお願いしたい。
魅力があっても、不便だと思っても、地元には戻りたいと思う。

(議員・地域おこし協力隊員)

- 高校生や大学生が自分のやりたい事や将来の夢が決まっていた事。
- 20年後を考えた時、自分自身がプランニング出来ていなかった事を痛感した。
高校生はすごく現実的であると感ずた。
- 自由に話し合いに入れるふんいきだった。
将来の夢は、現実的(若い方)え感心した。
自分の町を誇りに思ふこと。
子育て優先で、明るい町に。
- テーマを受け考えると良い処、直したい改善させたい良くしたい等種々思ふことが多くあった改めて気づいたことはよかつた。
20年後の自分 20年後の町 20年後の地域 どうなるのかな生きていれば見て見たいそれまでボケルことなく生きていたい。
- 20年後に仕事をしながらもボランティアをしたい。スポーツカーに乗りたい(買う)。など、
実際経済的な応援と社会環境の理解(会社)が必要。
20年後日本の経済発展を望む！！
- 高校生、大学生がいずれは地元に戻り仕事、そして結婚をし生活をしたうかがい感動した。
(気づいたこと) 若者のしっかりした考え方。郷土愛。
- 若い人から声かけてもらうのがめつたにないが、「何を飲みますか？」と声かけられうれしかつた。
20年後の世界観では私は86歳になり生きていくかわからないと書くと「大丈夫ですよ。元気で長生き」と声かけられ、本人はそういう老人の人たちとお話あいのできる仕事につきたいという。
若い人の声には希望がある。
- 経済的に落ち着いた生活—貯金。

地元で暮す。

家を建てる。

- 多くの人々との交流の場がつくられて、勉強になりました。
思った以上に話がはずんで時間が足りなかったかな!!
- 働く場所。
伝統芸能、お祭りをどう引き続くか。
関わりが大事、人、場所。
- 20年後は生きているのか？
若い人のエネルギーと希望に向う気持の強さを感じました。ガンバッテ下さい。
- 柴田校生（女性） 婦人警官へ。
意外と地元志向がある。
大人に望むこと（世代間交流の場を作ってほしい）。
高校生と大学生の違い。
- 「20年後同級生と子どもたちを混ぜて遊びたい」現在の友達が大好きなんだと思った。
- 夢、なりたいものは考えているようだが（決めているようだが）、意外とおとなしい。もう少しはっきりと言った方がいい。
- 大学生…後輩のために、大事なものは勉強ではあるが、今日のような社会勉強する機会をつくって欲しい（大学に要望）。教員を目指している…講師をする時、地元大学出身者が、地元周辺の学校で仕事ができる環境はつくれないのか？→状況を良く見ていると思った。
高校生も、大学生も自分自身の考えをしっかりと持っていて、それに向かって進んでいる事はすばらしいな!!
- 自分が思っている以上に高校生の皆さんの将来に対する考え方がしっかりと計画している事に感心しました。
大学生の意見は高校生の皆さんには深く心に残った事と思う。
20年後の自分という話し合いの中で人生観の違いが大きすぎてカルチャーショックを受けました。
女子高生の方々の結婚観がちょっと冷めていて残念！
話し合いが進むにつれ将来は地元に戻ってくる人が多い事にうれしかった。
- 各テーマに議員生活が34年で議員色がでる。困ったものだ。
我グループは、高校生の女性が多く、普通の生活を望んでいた。
大学に進む人、働く人…で差がある。
- 地元、地域を愛する心！
- 地元に残りたい生徒さんが多かった。
地元で働ける環境づくりの必要性を強く感じた。
- 安心・安全なまち、少子高齢化、便利なまち、人口減少。
高校生・大学生が、自らが生まれ育った町をしっかりと分析しとらえている。
比較的、都会ではなく、今住んでいる「まち」の周辺で働きたいと考える方が多かった。
雇用の場の確保をはじめ、住みよいまちづくり、便利なまちの形成を進めることの重要性を認識させられた。

- 高校生・大学生・議員が同じ空間でワールドカフェを実行するなんて本当にすごい！

(名前未記入)

- 一番心に残った言葉は、高校生は勉強も大事だが遊ぶことも大事。
気づいた事→たくさんの人と話せるとコミュカが身につき感情ゆたかになれる。いろいろな意見がきけるので視野が広がる。
- 若い人は案外、堅実な考えをもっていることが印象深かった。
- 交通安全な町（柴田町）。
夢に向かっている柴田高校生ガンバレ！！
- 本日は、生徒・学生から議員の方と様々な枠を超えて交流でき大変貴重な体験となりました。
印象に残っているのは、「いい街にするために？」という回答に「スタバ(カフェ)、ラウンドワンが欲しい」というものでした。少し漠然とした答えかなと思いましたが、これが生の意見なのかと感じました。
高校生で進学をしたい子がいた。しかし、そこには様々な問題がある。なので、奨学金などの手当ての充実をはかっている、との声があった(給付型)。
- 地元で働いて地元の祭りの山車をひきたい。
給付型奨学金がほしい(学費が心配)。
20年後、結婚して子育てをしたい。
働きはじめて、すぐ大人のあつかいになるので心配 印象的でした。
- 若いということは可能性がたくさんあるということ。
やりたいこと、行きたいところ 夢が広がる。

平成29年柴田町議会懇談会開催要領

1. 開催目的

本議会は、議会活動の報告や、議会や町政に対する意見・要望等を直接聴取するため、町民を対象とした議会懇談会（以下「一般懇談会」という。）及び、町内団体等を対象とした議会懇談会（以下「団体懇談会」という。）を開催する。

2. 実行委員会

- 1) 議会懇談会は、議会懇談会実行委員会（以下「実行委員会」という。）が企画し、実施する。
- 2) 実行委員会の委員（以下「実行委員」という。）は、議席番号1番から3番まで、4番から6番まで、7番から9番まで、10番から12番まで、13番から15番まで、16番から18番までの6つに区分し、それぞれの区分ごとに毎年輪番制で1名ずつ選出するものとし、本年は次のとおりとする。

区分 (議席番号)	実行委員名
1～3	森 裕樹
4～6	◎ 平間 幸弘
7～9	○ 秋本 好則
10～12	佐々木裕子
13～15	広沢 真
16～18	白内恵美子

※ 実行委員名欄の「◎」は実行委員長、「○」は副実行委員長。（H29.4.28第1回実行委員会において選任）

3. 一般懇談会

(1) 開催日時及び会場

開催日時	開催会場	対象行政区	担当班
9月20日(水) 19:00～20:45	槻木生涯学習センター (1階会議室1)	13.14.15.16.17A.17B.18A.18B.19. 20.21.22.23.24.25.26.27	1班
	柴田町役場 (保健センター4階会議室)	1.2.3.4.5.6A.6B.7A.7B.8.9A.9B.11 A.11B.11C.11D.12A.12B.30	2班
	船迫生涯学習センター (2階会議室2)	10.28.29A.29B.29C.29D	3班

(2) 懇談会の内容

1) 報告

- ① 平成28年柴田町議会懇談会に係る要望事項等の報告
- ② 平成28年度柴田町議会活動報告

2) 懇談

- ① テーマ「これからの公共交通について」

※テーマの選定理由：

本町には、町内バス路線が無く、特に高齢者を中心とした交通弱者への対策として、平成24年8月から町内タクシー会社を利用したデマンド型乗り合いタクシーを運行しています。柴田町にとってよりよい公共交通のあり方を検討していくために選定しました。

(3) 班編成及び役割分担等

- ① 班は6人で組織し、3班編成とする。
- ② 実行委員は、実行委員会において調整して2人ずつ3つの班（1班・2班・3班）に振り分ける。
- ③ 実行委員を除く議員を議席番号1番から6番まで、7番から12番まで、13番から18番までの3つに区分し、それぞれの区分毎の抽選により3つの班に振り分ける。
- ④ 各班に代表者、司会者、報告者、懇談担当者、記録者を置き、班員の互選によって決める。
- ⑤ 各班（1班、2班、3班）が担当する会場は、各班代表者の抽選によって決定する。

[担当班名簿]

班名	班員				担当会場
1 班 (6人)	代表者	高橋たい子	懇談担当者	広沢 真	槻木生涯学習センター
	司会者	平間 幸弘	記録者	平間奈緒美	
	報告者	安部 俊三	記録者	吉田 和夫	
2 班 (6人)	代表者	秋本 好則	懇談担当者	白内恵美子	柴田町保健センター
	司会者	舟山 彰	記録者	加藤 滋	
	報告者	桜場 政行	記録者	森 淑子	
3 班 (6人)	代表者	水戸 義裕	懇談担当者	森 裕樹	船迫生涯学習センター
	司会者	佐々木裕子	記録者	有賀 光子	
	報告者	斎藤 義勝	記録者	安藤 義憲	

(4) 周知方法

- ① 行政区内チラシの回覧（8月30日送付、9月1日から回覧）を依頼する。
- ② 町お知らせ版（9月15日号）に掲載して周知する。
- ③ 町内各施設にポスターを張る。
- ④ 町ホームページに掲載する。
- ⑤ 議員から声掛けをする。（1人チラシ40枚）
- ⑥ 招待された行事への参加時に、主催者にチラシ10枚程度を配布するとともに、議長あいさつの中で議会懇談会のPRをする。
- ⑦ その他、あらゆる方法を活用して広報する。

(5) 記録

懇談会記録は、会議経過及び参加者から出された意見、要望、提言などを要点記録する。
なお、各班の代表者は、班員に対し、班ごとの記録の内容を必ず確認させることとし、その確認は、9月22日（金）から行う。

(6) 結果報告書の提出

各班の代表者は、9月27日（水）までに結果報告書を（5）の記録とあわせて議長へ提出する。

(7) 資料

参加者に懇談会資料を配布する。

(8) 臨時託児所の設置

- 1) 一般懇談会への参加を促進するため、臨時託児所を設置する。
- 2) 利用時間 午後6時50分～午後8時50分
- 3) 利用料金 無料
- 4) 利用は事前申込みとし、当日受付は行わない。
- 5) 利用方法 9月15日（金）までに電話で申し込む。
 - ① 申込先 議会事務局
 - ② 申込時の確認事項

- ・利用する子どもの保護者（懇談会参加者）の氏名
- ・利用する子どもの氏名・年齢・性別
- ・その他（特記事項）

※ 必要により、普段使っているおもちゃや絵本、着替え、おむつ等の持参について、協力を依頼する。

6) 保育ママの配置

基本的には各会場に2人ずつ配置する予定であるが、予約状況により変更あり。

7) 会場及び準備物

開催日時	懇談会会場	臨時託児所の会場	準備物
9月20日(水) 18:50~20:50	槻木生涯学習センター	2階 和室3	
	柴田町保健センター	2階 和室	
	船迫生涯学習センター	2階 和室2	

8) 経費 保育ママ1人当たり1,000(円/時間)の単価で計算した額を謝礼として支払うものとし、議員厚生費から支出する。なお、当日の利用がなくても経費を支払う。

(9) 開催当日の日程

18:00-19:00	会場集合・準備(机いす・放送機器・看板等)
19:00-20:45	議会懇談会 (次第) 1 諸連絡 2 開会あいさつ 3 議会報告 ① 平成28年柴田町議会懇談会に係る要望事項等の報告 ② 平成28年度柴田町議会活動報告 4 懇談 ① テーマ1「これからの公共交通について」 ② テーマ2 町政・議会全般について 5 閉会あいさつ
20:45-21:00	かたづけ

(10) 議会懇談会の進行

区分	時間	担当者	進行内容
諸連絡	5分	司会	
開会あいさつ	5分		
報告①(要望回答)	5分		
報告②(議会活動)	5分		
懇談①(公共交通)	40分		
懇談②(町政・議会)	40分		
閉会あいさつ	5分		

(11) 準備物一覧 略

(12) その他

- 1) 参加者からの発言は、より多くの方が発言できるよう運営に配慮する。他人から依頼されてきた質問に対しては答える必要はなく、あくまでも参加者本人の質問に対して答えること。また、質問に際しては、具体的な内容について確認すること。
- 2) 議員の発言は、特定の議員に偏らないようお互いに良識をもって対応する。
- 3) 議員個人の見解は発言しない方が望ましいが、参加者から求められたときは、私見であることを前置きしてから発言する。
- 4) 参加者とのコミュニケーションが円滑になるよう、会場レイアウトは対面式ではなく、車座やロの字型など、会場の状況に応じ工夫する。
- 5) 参加者への確認事項
 - ① 町と議会との違いについて
例) 町の事業は、町執行部が条例案・予算案などを議会に提案し、議会の議決によって初めて町が行うことができる。議会は議決機関としての役割なので、町執行部のように予算提案権や事業執行権を持たないため、事業を計画し実施していくことはできないこと。
 - ② 意見・要望等に関しては、議会で議決された事実や経過は出席議員が知り得る範囲で発言できるが、今後の方向性等決定されていないことについては回答できないこと。
 - ③ 今回出された意見や要望等については、議会で懇談会報告書を作成し、開催会場施設への配布・閲覧や、ホームページへの掲載を行うこと。また、報告書を希望する参加者に対し郵送すること。
- 6) 懇談会終了後は、全体で総括する。
- 7) 懇談会で出された意見等のうち、町政への確認事項は、町長等に対し回答依頼するものとする。ただし、同様の内容については、できるだけまとめること。
- 8) 7) 以外の町政への意見や要望等は、議会としてさらに調査・対応した方がいい案件もあるので、所管の常任委員会に分類送付し、当該委員会で調査の可否等を決定して対応する。
- 9) 意見・要望等で必要なものは、議長から町長へ申し入れ、必要な対応を求める。
- 10) 次年の議会懇談会の参考とするため、参加者に対しアンケート調査を実施する。
- 11) 開会に先立ち、諸連絡として司会が参加者に対し、写真撮影及び議会だより掲載の了解、携帯電話をマナーモードにすることの了解を得る。

柴田高校 3 年生との議会懇談会開催要領

(1) 開催日時及び会場

開催日時	団体名	開催会場
10 月 27 日 (金) 13:40～15:30	柴田高校 3 年生	柴田高校 1 階 会議室

(2) 懇談会の目的・ねらい

(高校生側のねらい)

- ① 普段接する機会がない議員と同じ立場で意見交換をすることで、議会を身近に感じ、議会・政治への興味関心を持ってもらう。
- ② 地域の課題について考える機会を持ち、あらためて自分の住む地域への興味関心を持ってもらう。

(議会側のねらい)

- ① 次世代を担う若い世代から、地域に対して普段感じていることをきくことで、今後の地域課題を明らかにする。
- ② 若い世代に議会への興味関心を持ってもらう。

(3) 懇談会の内容

- 1) 懇談会の名称を、「住みたい町って？しゃべり場 in 柴田高校 2017」とする。
- 2) ワークショップのテーマを「若者が地域に戻りたくなる町」とし、具体的な対話テーマを次の3つとする。
 - テーマ①「自分の住む町の誇りに思うこと、残念に思うことは何ですか？」
 - テーマ②「20年後、地元で暮らす、地元と関係を持ち続ける自分について想像してください。そこではどのような仕事をしていて、どんな人々とどんな暮らしをしていますか？」
 - テーマ③「そんな20年後が実現するために、今取り組まなければならない一歩は何でしょうか。大人に応援してもらいたいことは何でしょうか？大人が応援できることは何でしょうか？」

(4) 班編成及び役割分担等

- 1) 代表者は議長とし、司会者は実行委員から選任する。ファシリテーターを、外部の講師に依頼する。

役割	担当者名	
代表者	高橋 たい子議長	
司会者	懇談会副実行委員長	
ファシリテーター	佐藤 淳 氏	

- 2) 懇談は、ワークショップ形式（ワールド・カフェ）とする。

- ① 議員は、1 班から 14 班までの班に入る。
- ② 各班に高校生、大学生等が入る。
- ③ 議員（大人）は、高校生・大学生が発言しやすいように工夫するとともに、反論するような発言をしてはならない。大人のルールは、説教しない・納得させない・同意を求めないの3つである。
- ④ ワークショップ終了後、参加した高校生・大学生に、アンケート（感想も含む）を依頼する。高校生のアンケートは、当日提出してもらう。

[担当班名簿]

班名	議員 (テーブル ホスト)	議員 (その他)	大学生	高校生
1 班	平間 幸弘	森 裕樹	1 人	3 人
2 班	桜場 政行	加藤 滋	1 人	3 人
3 班	吉田 和夫	安藤 義憲	1 人	3 人
4 班	秋本 好則	森 淑子	1 人	3 人
5 班	斎藤 義勝	(丸森町議員)	1 人	3 人
6 班	平間 奈緒美	(丸森町議員)	1 人	3 人
7 班	佐々木 裕子	(丸森町議員)	1 人	3 人
8 班	安部 俊三	(丸森町議員)	1 人	3 人
9 班	広沢 真	(丸森町議員)	1 人	3 人
10 班	有賀 光子	(丸森町議員)	1 人	3 人
11 班	舟山 彰	(丸森町議員)	1 人	3 人
12 班	白内 恵美子	(柴田町地域おこし協力隊)	1 人	2 人
13 班	水戸 義裕		2 人	2 人
14 班	高橋 たい子		1 人	3 人
計	14 人	12 人	15 人	40 人

※ 1 回目の席替え時の動き

- ① テーブルホストは動かない
- ② 議員 (その他) は議員が 3 人にならないように移動する。
- ③ 大学生等は各テーブルに 1 人になるように移動する。
- ④ 高校生は、他のテーブルにそれぞれ移動する。その際、なるべく最初のテーブルメンバーと重ならないように配慮する。

(5) 開催当日の日程 (例)

12:30	実行委員集合・準備 (机いす・放送機器・看板等)
13:00	議員集合
13:40-15:30	議会懇談会 (次第)
	1 開会あいさつ (議長)
	2 講師紹介 (司会者)
	3 懇談 (ワークショップ)
	4 閉会あいさつ (実行委員長)
15:30-16:00	かたづけ

(6) 議会懇談会の進行

区分	時間	担当者	進行内容
開会あいさつ	2 分	議長	
講師紹介	2 分	司会	
導入 ワークショップの進め 方説明	15 分	ファシリテーター (佐藤 淳 氏)	
懇談 (テーマ①)	20 分	各議員	

グループ替え	3分		
懇談（テーマ②）	20分	各議員	
休憩	8分		
懇談（テーマ③）	20分	各議員	
ふりかえり 感想発表	18分	高校生	
閉会あいさつ	2分	懇談会実行委員長	

(7) 周知方法

議会懇談会への団体の参加者は、当該団体に一任する。

(8) 記録

懇談会実行委員は、班ごとの模造紙に記載された事項を要点記録するものとし、11月7日（火）までに議長へ提出する。

(9) まとめ

提出された記録を基に、実行委員会で討議をし、問題点を整理する。その結果について、さらに全員協議会に報告して、議員間で情報の共有を図る。なお、まとめに当たっては、アンケート結果についても考慮する。

(10) 資料

参加者に懇談会資料を配布する。

(11) 準備物一覧 略

議会懇談会実行委員会の活動経過

(1) 実行委員会

開催回	開催日	開催内容
1	29年4月1日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・正副実行委員長の選出 ・議会懇談会の内容の検討
2	29年6月12日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・議会懇談会の実施方法及び内容 ・実行委員の担当班の割り当て ・第1回議員研修会の内容
3	29年7月5日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・議会懇談会実施後の流れ、留意事項の確認
4	29年8月1日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・団体懇談会の内容
5	29年8月8日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般懇談会台風の影響により中止の対応 ・今後のスケジュール
6	29年8月30日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・団体懇談会の開催要領 ・第2回議員研修会の内容
7	29年9月20日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・団体懇談会の開催要領の確認 ・第2回議員研修会の内容
8	29年9月22日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・団体懇談会の開催要領の修正
9	29年10月6日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般懇談会の拡販報告書を常任委員会へ振り分け
10	29年10月20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・団体懇談会の確認 ・一般懇談会テーマ1のまとめ ・平成29年議会懇談会実行委員会への申し送り事項
11	29年11月13日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回議員研修会の内容の確認 ・懇談会報告書案の作成
12	29年11月28日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会報告書案の確認 ・申し送り事項
13	29年12月18日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・全協の意見を踏まえ、懇談会報告書の修正
14	29年12月20日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回議員研修会のまとめ

(2) 全員協議会

開催回	開催日	開催内容
1	29年5月23日(火)	・一般懇談会の実施方法、班編成
2	29年7月31日(月)	・一般懇談会開催要領の確認
3	29年9月22日(金)	・団体懇談会開催要領の確認
4	29年12月7日(月)	・議会懇談会の報告書の確認
5	29年12月20日(水)	・議会懇談会の総括

(3) 議員研修会

開催回	開催日	開催内容
1	29年8月1日(火) (参加者75人)	第1回公開議員研修会 演題： 「生活の質向上を目指した公共交通の考え方」 講師： 宮城大学 副学長 事業構想学群教授 徳永幸之 氏
2	29年12月20日(水) (参加者61人)	第2回公開議員研修会 演題： 「石巻から生まれた『コミュニティ・カーシェアリング』～支え合いの地域づくりから始まる外出支援活動～」 講師： 一般社団法人 日本カーシェアリング協会 吉澤 武彦 氏